

■ SDGsにも貢献



「ナチュラリープラス こども基金」から
認定NPO法人 ルーム・トゥ・リード・ジャパンへ

2020年の
支援金額 **1,050,000円**

30名の少女を支援しました。

女子教育プログラムでは、1人当たり35,000円で
1年間サポートできます。



パンデミックにより 児童婚のリスクが 上がる

ユニセフの報告書によると「パンデミックの結果、今後10年間でさらに1000万人もの少女が児童婚になるリスクがある」と推定されています。パンデミックの中で何もしなければ、状況は悪化してしまうのです。

コロナ禍のルーム・トゥ・リードの支援活動

学校閉鎖で教育危機に直面している子どもたちのため、遠隔学習を通じて支援を行っています。

- ラジオやテレビ番組を活用しての授業提供、家庭への印刷教材の配布
- 電話やテキストメッセージによる保護者や教師へのサポートの強化
- 教師や書籍制作者向けのバーチャルトレーニング
- 政府の公式学習サイトへのコンテンツ提供
- 遠隔でのメンタリングセッションやライフスキルサポートの提供
- コロナ禍で中退の可能性がある少女を早期に見極めるツールの適用
- デジタル学習プラットフォームLiteracy Cloud (英語および支援国の言語) で利用できる書籍やリソースの大幅な拡充など



ナチュラリープラス
こども基金

皆さまの“100円の思いやり”が子どもたちの可能性を広げ、未来へ羽ばたく一助となっています。これからも温かいご支援をよろしくお願いします。

製品に**プラス100円**で
子ども支援にご参加いただけます。

※「セット商品」をお申込の方は「セット商品」のお届け終了後変更させていただきます。

ご変更はこちらから…

☎ 0120-934-258

※「セット商品」をお申込の方は「セット商品」のお届け終了後変更させていただきます。 平日9時～18時(土・日・祝日休み)

コロナ禍で加速する児童婚

女子教育が 歯止めをかける

活動報告



ナチュラリープラス
こども基金

新型コロナウイルスの影響で開発途上国では学校閉鎖となり、学習機会の損失や児童労働、栄養不足などが起こっています。なかでも深刻なのが児童婚の増加。その抑止力になるといわれているのが教育です。「ナチュラリープラス こども基金」が支援しているルーム・トゥ・リード・ジャパンは「子どもの教育が世界を変える」という信念のもと、開発途上国の子どもたちの教育支援を行っている認定NPO法人。その活動の中でもナチュラリープラスが支援している女子教育プログラムをご紹介します。



カビタ・タパさん

女子教育プログラムの卒業生。現在はネパールでルーム・トゥ・リード女子教育プログラムのソーシャルモビライザー※として働く。

※女子教育プログラムに参加している少女たちのメンターとして支援を行う地元の女性スタッフ

結婚するよう迫られ続けた少女時代

カビタさんは2004年、4年生の時から女子教育プログラムに参加しましたが、教育費を出し続ける余裕がなく、10年生のころから家族に結婚するよう迫られるように。しかしそのプレッシャーに負けず、結婚に「NO」と言い続けることができました。それはルーム・トゥ・リードの女子教育プログラムのおかげ。メンターの女性に励まされ、ライフスキルの授業で強くなったからこそ、自分の意思を貫くことができたのです。

カビタさんのお母さんのコメント

高校進学後、私たちが勧めた結婚に同意せず、娘は勉強を続けたいと主張しました。だからこそ、今の彼女がいるんだと思います。今では私も職場の同僚や友人には娘を例に出して「娘たちを早くに結婚させず、勉強を続けさせるように」とアドバイスしています。

現在は自分自身が助けられた ソーシャルモビライザーの仕事に

カビタさんがソーシャルモビライザーとして働き始めて3年がたちます。学校に行きたくてもサポートを得られない女の子たちに、問題解決や感情をコントロールする力、周囲からのプレッシャーに負けない力を養うライフスキルを教えています。また、個人のメンタリングセッションを行ったり、自分自身の経験を話して女の子たちを励ますことも。同じ問題を克服してきたカビタさんの話は、女の子たちが勉強を続けるモチベーションにつながるのです。